

小学校・中学校で出前授業(講師派遣)を行っています。

真菅北小学校(1月) 大安寺小学校(2月) 二上小学校(2月) 田原本南小学校(6月)

「マラリア・肺炎・下痢で5歳未満児が亡くなるなんて」

「毎日8時間もかけて水くみに行っていることにびっくり」

参加した児童の皆さん
から多くの感想文が
寄せられました

奈良県ユニセフ協会ではスタッフが学校や団体を訪問して授業を行う、出前学習会(講師派遣)を行っています。

映像や体験(水がめ運び、かや吊り、支援グッズに触れる)などを取り入れ、ユニセフの支援や、「今、世界でどんなことが起きているのか」「世界の子どもたちはどんな生活をしているのか」などの授業を行います。「SDGs(持続可能な開発目標)」や「子どもの権利条約」など、特定のテーマについても可能な範囲で対応します。オンラインでの学習会も実施しています。

■ 真菅北小学校(橿原市)

2025 年 1 月 15 日、橿原市立真菅北小学校を訪問し、6 年生 90 名を対象に出前学習会を行いました。



■ 大安寺小学校(奈良市)

2 月 6 日、奈良市立大安寺小学校において、6 年生 57 名を対象に出前学習会を行いました。



■ 二上小学校(香芝市)

2 月 10 日、香芝市立二上小学校において、5 年生 98 名を対象に出前学習会を行いました。



■ 南小学校(田原本町)

6 月 9 日、田原本町立南小学校において、4 年生 55 名を対象に出前学習会を行いました。



橿原市 しらかし会館

ユニセフパネル展示 & フース出展

2025 年 2 月 14 日～3 月 7 日、橿原市しらかし会館において、ユニセフパネル「ユニセフってなあに？」と昨年に白檀中学校で開催されたユニセフ出前授業の記念写真が展示されました。

また 3 月 2 日に同会館で開催された「ふれあい交流会」にブースを出展し、来館者の皆さまにユニセフの活動を紹介。交流会に訪れられた皆さまからご寄付をいただきました。



出前学習会に参加した児童の皆さんから、
多くの感想文をいただきました。

『自分が生きていることはあたりまえ、親がいるのも、学校にいくこともあたりまえ。今、この時間も苦しんでいる人があるのに、その苦しみを分かちあうことも、知ることもできない。でも募金することはできる。平和で幸せあふれる世界になるように、ずっと募金したいと思った』(F さん/小 5)

『毎日水をくみに、学校にも行かず、8 時間もかけて行っている。学校がすごくいやだと思う時もあるけど、自分はだいじななと思った。たいへんな思いをしている子たちには、1 時間でもいいから自由をあげたいと思った。』(M さん/小 6)

『自分が幸せで困っていないからこそ、他の子どもたちに寄付したり支援したり、自分ができていることを考えていくことは大切なことと思った。』(U さん/小 5)

『能登半島地震から相手の気持ちを考えることも大切だと思った。自分たちは水道があり、十分なごはんがあり、あたたかい家が当たり前の生活で恵まれていると思ったけど、みんなが平等でないと世界がなりたないことに気がついた。』(N さん/小 5)

『1 億人以上の人が食料や水にこまっていて、中には子どもでも働かないといけないう人がたくさんいると聞いておどろいた。世界中の人が安心して生活できる世の中になってほしいと思う。そのために自分でできることをさがしたい。』(Y さん/小 4)

『水くみで毎日 8 時間くらいかかっていることにびっくりした。重いものを持って 15km も歩いていることがすごい。水くみのバケツの体験をして、こんなに重いものを持っているかが分かった。』(U さん/小 6)

『水がめを持ってすごく重たくてびっくりしました。そしてなぜ女の子がお手伝いをして、男の子が学校に行けるのかな、とき問に思いました。ぼくはぼ金ができる時はしようと思います。』(F さん/小 4)

『マラリア、肺炎、下痢のせいで 5 歳未満児が亡くなってしまうことを初めて知った。たまにはしんどいと思う時もあるけど、アフリカの所はもっと苦しいのだなと思った。』(N さん/小 6)

2025年 1月～6月 活動報告

2025年6月7日

第7回ユニセフシネマの集いを開催 「歌声に乗った少年」

会場 奈良公園バスターミナル レクチャーホール

2025年6月7日、奈良公園バスターミナルのレクチャーホールにおいて、第7回ユニセフシネマの集い「歌声に乗った少年」(2015年制作)を開催しました。

亡き姉との約束を果たすため、紛争の地から命懸けで脱出し、世界的な歌手になる夢を叶えたムハンマド少年の実話に基づく映画です。

参加された方からは「いろいろな気持ちと感情が湧き起こる映画でした」や「平和のメッセージが伝わってきました。戦争のことを考えさせられました」等の感想が寄せられました。

また普段触れることの少ないユニセフの支援ギフト資材を展示すると共に、多くの皆さまよりご寄付をいただきました。たくさんの方のご参加とご支援をありがとうございました。



2025年 5月30日 なら100年会館

国際ソロプチミスト奈良 主催

アグネス・チャン チャリティー講演会 「地球の子ども達」

県ユニセフ協会 フース出展 & 写真パネル展示

2025年5月30日、国際ソロプチミスト奈良主催のアグネス・チャン チャリティー講演会『地球の子ども達』が開催され、県ユニセフ協会は、会場のなら100年会館にユニセフブースを出展。また写真パネル『アグネス大使ニジェールを訪問 砂漠をわたる子どもたち～開発から取り残された国ニジェール～』を展示して、来場の皆さまにユニセフの活動を紹介しました。

アグネス・チャンさんは1998年4月に日本ユニセフ協会大使に就任され、2016年3月からユニセフ・アジア親善大使として、世界の子どもたちのために活動してくださっています。今回の講演では、世界の子ども達の現状や未来について多角的な視点から約70分にわたってお話され、熱弁に感銘された皆さまよりご寄付をいただきました。

国際ソロプチミストは女性と女児の生活向上を目指して活躍する世界的な女性の奉仕団体。国際ソロプチミスト奈良は日本で24番目に認証された奈良県で初めてのソロプチミストのグループです。今年度53周年を迎えました。



ユニセフ街頭募金を呼びかけました

4月19日 東大寺参道 5月31日 近鉄奈良駅前

4月19日と5月31日、県協会ボランティアが中心となって東大寺南大門前と近鉄奈良駅前ではユニセフ募金を呼びかけました。

東大寺南大門前の参道では多くの外国人観光客からもユニセフ募金に協力をいただきました。



東大寺南大門前にて

一方、近鉄奈良駅前ではブライトン・ゴスペル・クワイヤの皆さんが、今回も一緒になって、美しく迫力のあるゴスペルの歌声で募金活動に参加してくださいました。

2025年 2月4日

奈良県経済倶楽部 火曜午餐会

県ユニセフ協会が講演「ユニセフと地球の子どもたち」

2月4日、県ユニセフ協会は奈良県経済倶楽部の火曜午餐会に招かれ、「ユニセフと世界の子もたち」のテーマで中川事務局長が講演を行いました。



前半はユニセフの組織、仕組みなどについて、後半は出前学習会で使用するPPTやDVDを用いて世界の子もたちの様子やユニセフの支援活動などについて紹介しました。また講演終了後、会員の皆さまより募金をしていただきました。

2025年4月21日～25日

奈良市役所 一階通路 写真パネル展を開催

「ウクライナ危機から1年

～紛争下の子どもを支えるユニセフの緊急支援～」

4月21日から25日まで、奈良市役所の一階通路で写真パネル展「ウクライナ危機から1年。紛争下の子どもを支えるユニセフの緊急支援」を開催しました。

ウクライナ紛争の発生から3年が経過しました。ウクライナの子どもたちは今もなお破壊、トラウマ、喪失感、避難の苦しみに耐えています。ユニセフはウクライナおよび難民受け入れ国において、保険・衛生・栄養支援、心のケアなどの救援活動を継続しています。

今回の写真パネル展では、紛争の発生から1年後の2023年の4月にウクライナを訪れて紛争下の子どもを支えるユニセフの緊急支援の様子を撮影した、その写真の一部を展示しました。



2025年 5月3日 & 6月1日

県立宇陀高等学校

「うだ・アニマルパーク」「あいさこいさ祭り」

今年もユニセフ募金を呼びかけ

2025年5月3日、県営うだ・アニマルパークで県立宇陀高等学校の皆さんがユニセフ募金(ミャンマー地震緊急募金)を行いました。また、6月1日、榛原駅前一帯で開催された「あいさこいさ祭り」でも、同高等学校の皆さんが今年もユニセフ募金(ミャンマー地震緊急募金)を呼びかけていただきました。

募金に協力して頂いた皆さん、また暑い中頑張ってくれた高校生の皆さん、ありがとうございました。



「あいさこいさ祭り」で募金を呼びかける宇陀高校生の皆さん

2025年6月11日 募金贈呈式

育英西高等学校

全生徒、保護者の方に協力を呼びかけ！

外国コイン・紙幣、書き損じハガキ、使用済み切手

6月11日、育英西高等学校有志の皆さんが、4月から5月に渡って学校の全生徒さんや保護者の皆さんに呼びかけて集められた、外国コイン・紙幣、書き損じハガキや使用済み切手などを事務所にご持参いただき、募金贈呈式を行いました。

同校では、昨年10月に県ユニセフ協会がJR奈良駅前でいった街頭募金や、年末のハンドインハンド募金に有志の皆さんと一緒に参加して支援を呼びかけてくれています。

今回の寄せられたご支援は世界の子どもたちのために役立てたいと思います。ご協力をありがとうございました。



ガールスカウト奈良県連盟「国際理解のつどい」 にブース出展

2025年2月9日、斑鳩町いかるがホールにおいて、ガールスカウト奈良県連盟主催の“国際理解のつどい”にユニセフブースを出展しました。栄養治療食(1袋53円)など支援物資の調達費用を説明し、皆さんに関心を持って頂きました。また、小学生が昨年に配布した募金箱(ファミリーボックス)に一杯の硬貨を貯めて持参してくれるサプライズがありました。



奈良県ボーイスカウト連盟と一緒に エンジョイ・ウォークを実施

4月29日、ボーイスカウトの皆さんと共にユニセフエンジョイ・ウォークを実施しました。風が少し強めでしたが快晴で、近鉄結崎駅から唐子・鍵遺跡を巡り、奈良県ボーイスカウト連盟の大会会場の田原本中央体育館までの4.7kmのコースを楽しくウォークしました。また、リーダーの皆さんからたくさんの募金をいただきました。



十津川村食フェスタ 2025 にブース出展 上野地河川広場

5月31日、十津川村の上野地河川広場で開催された十津川村食フェスタにユニセフのブースを出展しました。谷瀬の吊り橋近くにある会場で青空ライブ、のど自慢大会、盆踊りや花火などのイベントが多数行われました。また多くの屋台、キッチンカーの出店があり、売り上げの一部をユニセフ募金に寄付していただきました。



ムジークフェストなら 2025 にブース出展 あすか風舞台「あおぞら吹奏楽」

“ムジークフェストなら 2025”は県内の音楽ホールや社寺、カフェなど、街中がステージとなって開催される古都奈良を彩る音楽祭です。

6月8日、豊かな歴史と自然に囲まれた明日香村の国営飛鳥歴史公園あすか風舞台で開催された「あおぞら吹奏楽」にブースを出展しました。県内の小中高校の吹奏楽部を始め、特別ゲストの世界的トランペット奏者や大阪桐蔭高等学校吹奏楽部が登場。心躍る演奏を楽しみに来られた皆さんに、ユニセフの活動を紹介しました。



募金協力(学校・その他団体) 2025年1月~6月 ご支援ありがとうございました！

佐藤薬品工業(株)有志会、元興神倶楽部

奈良県経済倶楽部、二上小学校、白檀町連合自治会

白檀中学校/白檀中学校運営協議会

ガールスカウト奈良県連盟、市民生活協同組合ならコープ

奈良中学生サッカーフェスティバル

宇陀高等学校、国際ソロプチミスト奈良

ブライトン・ゴスペル・クワイアー、十津川村

(順不同、敬称略)

賛助会員募集

日本ユニセフ協会の趣旨に賛同してくださる会員を募集しています。

賛助会員とは、日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の運営を、年会費によってご支援いただく方法です。

種類	対象	賛助会費	賛助会員期間
一般賛助会員	個人の方	1口5千円	入会月～1年間
学生賛助会員	18歳以上の学生の方	1口2千円	入会月～1年間
団体賛助会員	団体・法人・企業	1口10万円	入会月～1年間

- *一般・学生賛助会員は、個人名でのお申し込みに限ります。
- *賛助会費は寄付金控除の対象になります。
- *会員期間は入会月から一年毎の更新となります。
- *賛助会費は、1口以上何口でもご協力いただけます。

■ 奈良県の賛助会員

一般・学生賛助会員

個人の賛助会員 173 人のご支援をいただいています。
(2024 年 7 月現在)

団体賛助会員

現在 7 団体 (8 口) のご支援を頂いています。
日ごろのご支援に感謝し、ご紹介させていただきます。

- ・ (宗) 東大寺
- ・ 株式会社中谷本舗
- ・ 佐藤薬品工業株式会社
- ・ 新生薬品工業株式会社
- ・ 奈良県農業協同組合
- ・ 株式会社ヒロセ家工房
- ・ 三和澱粉工業株式会社



(2024 年 7 月現在、順不同、敬称略)

日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の活動は賛助会員様により支えていただいています。
ご支援ありがとうございます。

使用済み切手回収

「使用済み切手」を集めています。皆さまのご協力をお願いします。

消印を押された使用済み切手も、換金され募金として役立っています。使用済み切手は、開発途上国の子どもの命と健康、権利を守るためのユニセフ (国連児童基金) の活動に役立てさせていただきます。



切手は無理に剥がさずに、切手の回りに 5mm ほどの余裕を持って切り取って下さい。

切手回収 BOX を奈良市はぐみセンター (JR 奈良駅西側すぐ) に設置しています

使用済み切手のほかにも集めています。

未使用切手 **書き損じハガキ** **使い残しハガキ**

- * 奈良県ユニセフ協会事務所へご持参ください。
- * 郵便で奈良県ユニセフ協会事務所へお送りください。

ボランティア募集

奈良県ユニセフ協会では、下記の活動を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

学生の方も大歓迎です。

世界の子どもの現状、ユニセフやボランティア活動に関心をお持ちの方、私たちと一緒に楽しく活動を始めませんか。

お気軽に事務所までお問い合わせください。

- ◆ 募金活動
- ◆ イベント参加
- ◆ ユニセフ学習会講師
- ◆ 機関紙発行
- ◆ 事務所でのお手伝い



※ 鹿のイラストはすべて、ボランティア大西好美さんの作品です。



奈良県ユニセフ協会

〒630-8215 奈良県奈良市東向中町 6 番地

奈良県経済倶楽部ビル 404 号室

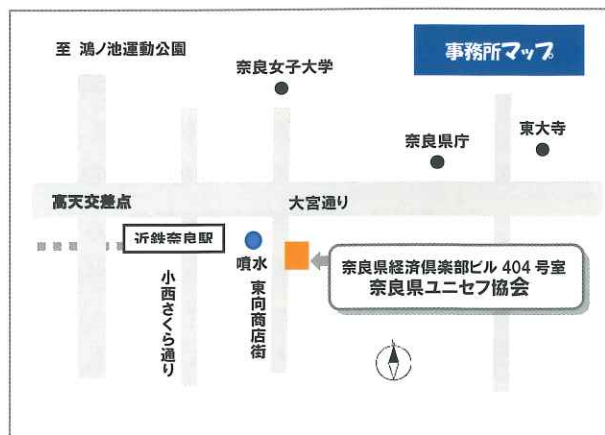
Tel 0742-25-3005 Fax 0742-25-3008

E-mail: unicef-n@m4.kcn.ne.jp

ホームページ: www.unicef-nara.jp/



- ・ 募金をして頂ける方、ユニセフDVD等の資料をご入用の方、ユニセフ支援ギフトにご協力いただける方など、お気軽にお越しください。
- ・ 奈良県ユニセフ協会では各種イベントを企画しています。ホームページの「今後の予定」をご覧ください。



※ 事務所開所日時: 月・火・水・木 11:00~16:00